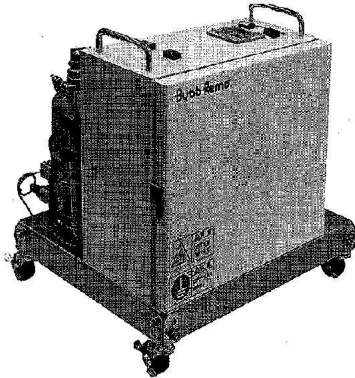


平成29年11月7日

ファスニングジャーナル(7面)に掲載されました



日東精工

生成装置シリーズ開発

マイクロバブル洗浄の基幹技術

最大生成流量約10L/分タイプ

日東精工(本社)東京都府綾部市。材木正三社長では、2011年の製品化から市場で高評価を受けているマイクロバブル洗浄装置の基幹技術であるマイクロバブル生成機構成体をユニット化した「マイクロバブル生成装置シリーズ」の開発をおこない、10月7日より販売を開始した。同社では、水と空気のみに生成されたマイクロ

バブルの特性を活かし、対象物に付着した油などの汚れに接触してその表面に吸着することで洗浄効果を発揮する「マイクロバブル洗浄装置(バブル・リモ)」の製造販売を2011年に開始。現在までに4機種をラインナップ。

「バブル・リモ」は、一般的な洗浄機と比較して、有機溶剤や酸・アルカリといった化学合成物質を一切使用しないため、環境に優しく、作業者に安全でランニングコストが圧倒的に安価な工業用専修装置として、環境意識の高い自動車関連ユーザーを中心に幅広い評価を得てきた。

そのような中、顧客の工場内に既設の洗浄機への組み込みに対する要望や、その他の応用分野での活用に対する意見が寄せられていた。マイクロバブルは、今後さまざまな分野での応用が期待されており、用途が広がる可能性を秘めている。今回の「マイクロバブル生成装置シリーズ」の開発で、より一層の環境負荷低減を目指して新たな事業領域への挑戦を続けていくものとしている。

【製品特長】
①生成流量に応じて4機種をラインナップ
②標準機を4機種ラインナップ(10、20、40、80L/min)。利用用途に合わせて選定できる。その他要望に応じてカスタマイズも可能。
③省スペース化を実現
④装置外形は省スペース化を図り、既設装置への組み込みがし易い設計。また、標準でロック機構付きキャスター及び取手を標準採用し、容易に移動が可能。
⑤外部入力による自動運転が可能
⑥外部機器からの信号を受け、運転開始および停止することが可能。
⑦オプションでタイマー機能を設けることも可能。
⑧高濃度マイクロバブル生成機構
⑨マイクロバブル洗浄装置で培った高濃度マイクロバブル生成機構を採用。濃度の高いマイクロバブルを安定して生成することが可能。
⑩簡単な運転
⑪各種機器をシンプル設計とすることで故障が少なく、簡単に運転操作が可能。
⑫FBI Aより国内第一号となる製品サンプル性能の認証を取得。所属会員でもある一般社団法人フアインバブル産業会(以下、FBI A)よりマイクロバブル発生機の製品のサンプルの性能を認証する「マイクロバブル認証事業」(IA認証)から、FBI Aが指定した試験ラボによる発生機試験と評価結果を得て、2017年8月25日に国内第一号となる製品サンプルの性能認証を取得した。

用途例は、既設の洗浄機への組み込みによる洗浄性の向上、その他の応用分野。
同社販売計画では、ターゲット業界は製造・加工業界など。希望販売価格はオープン価格。目標販売台数は年間100台を指す。